

1-1 計画改訂の趣旨と目標年次

(1) 計画改訂の趣旨

本市では、平成 18 年 3 月に策定した「佐世保市農林水産業基本計画」に基づき、将来の農林水産行政における独自性豊かな施策展開に向け、長期的なビジョンに沿った、効率的かつ質の高い事業を進めるため、各種の取り組みを展開してきました。

しかし、本市農林水産業の現況は、計画策定後 5 年を経過しても農林漁家数の減少や担い手の高齢化、農業産出額や漁獲高の低迷等、依然として厳しい状況が続いております。

また、国では、平成 22 年 3 月に「食料・農業・農村基本計画」を策定し、戸別所得補償制度の導入、消費者が求める「品質」と「安全・安心」といったニーズに適った生産体制への転換、6 次産業化による活力ある農山漁村の再生を基本に、各般の施策を一体的に推進する政策体系に農政を大転換させ、「食」と「地域」の早急な再生を図っていくこととされています。

このように本市農林水産業を取り巻く厳しい状況と環境変化に的確に対応するとともに、平成 22 年 3 月 31 日の江迎町、鹿町町との市町合併を契機として、このたび、基本計画の中間見直しを行い、「佐世保市農林水産業基本計画（改訂版）（以下、「本計画」という。）」を策定することといたしました。

(2) 計画の推進方策の見直し及び目標年次

農林水産業の更なる振興を図るために、現状と課題を検証し、施策の方針を新たに追加するとともに、必要に応じて見直しを行っています。あわせて施策の達成目標についても、より詳細な指標と目標値へ変更を行い、今後の取り組みの方向性を明らかにしています。

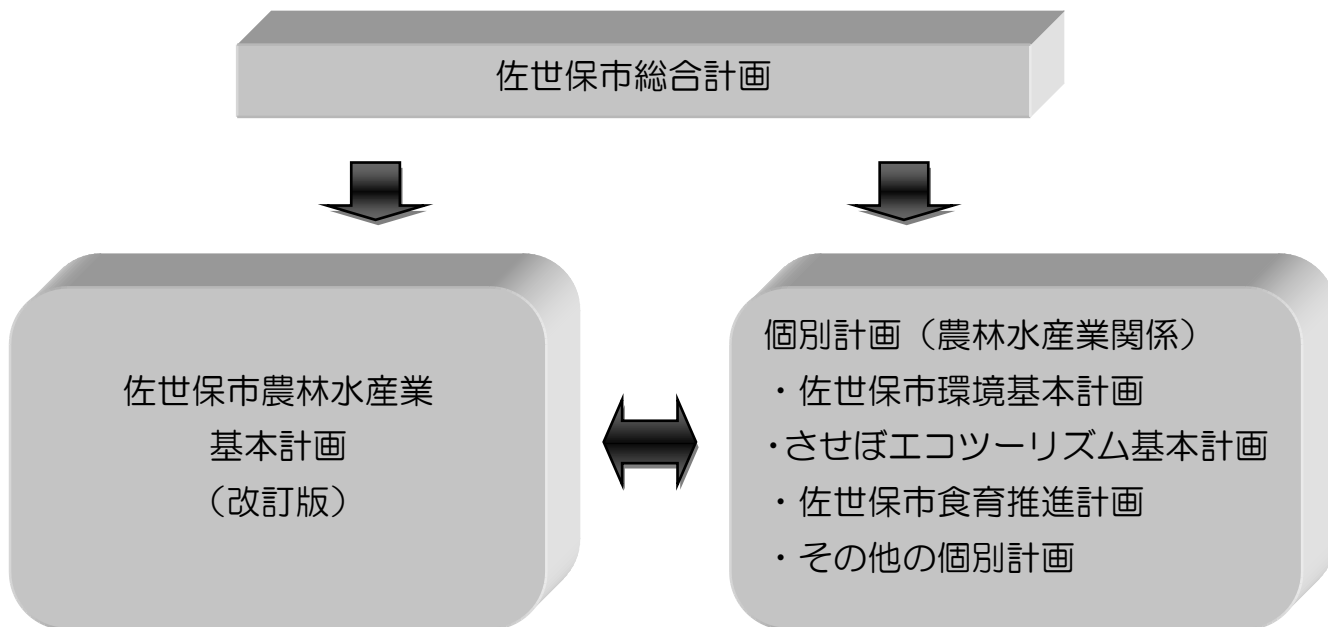
また、本計画における重要な施策及び解決すべき課題等を新たに重点プロジェクトとして位置づけ、その実現方策を検討し、目標の達成を目指すものとします。

本計画の計画期間は、平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間とします。

1-2 計画の位置付け

佐世保市農林水産業基本計画は、「佐世保市総合計画」を補完する農林および水産分野の個別計画とします。

また、農林水産業に関わる側面を持つ個別計画との整合を図っていきます。



1-3 基本計画推進の視点

佐世保市農林水産業基本計画については、次の3つの視点に配慮しながら計画の推進に努めます。

視点Ⅰ：農林水産業関係者と市民と行政が一体となった計画推進

佐世保市農林水産業基本計画に掲げる目標の達成に向け、基本理念、基本方針に基づく所要の施策の展開を図るためには、農林水産業関係者（農家、漁家、各種団体など）と市民、行政の役割分担と協働による取り組みが不可欠となります。

このような中において、本計画の推進にあたり、農林水産業関係者、市民、行政は次のような行動目標のもとに、将来の佐世保市農林水産業の発展に向けて取り組みます。

農林水産業関係者の行動目標
(農家、漁家、各種団体など)

- ・豊かな自然環境に配慮した生産活動を行います。
- ・新鮮・安全・安心な農林水産物を生産します。
- ・地元農林水産品の認知度の向上に向け、PR活動や新商品の開発に努めます。
- ・市民への積極的な情報提供などにより、農村・漁村での交流機会を増やします。
- ・次世代を担う子供たちに、農林水産業の大切さや素晴らしさを伝えます。

協働

協働

市民の行動目標

- ・積極的に農林水産業に関わり、理解を深めます。
- ・生産者や行政との協働による“農林水産”を支える様々な行動を起こします。
- ・農林水産業との交流や体験の機会を増やしていきます。

協働

行政（佐世保市）の行動目標

- ・佐世保市の農林水産業の発展に向けて、県や国との調整を図ります。
- ・農林水産業に関する生産者や市民の取り組みに対し、積極的に支援を行います。

視点Ⅱ：産業間の連携強化と拡充

佐世保市の農業、林業、畜産業、水産業のそれぞれが特徴を生かしつつ、各々がもつ情報や技術、知識、経験、文化などについて共有・連携を図ることにより、佐世保市らしさを持った、新しい農林水産業のあり方や魅力を引き出すことが期待されます。

さらに、観光業や製造業などの異業種との連携により、その可能性はもっと広がることが期待され、新しいビジネスや地域文化形成のチャンスになります。

このため、本計画の推進にあたっては、佐世保市の農林水産業間における連携の強化を図るとともに、異業種との連携強化・拡充を進め、新たな農林水産業の創造を目指します。

視点Ⅲ：地域間の連携強化

佐世保市の農林水産物供給の特徴は、少量多品目といった傾向が強く、安く大量に供給される輸入農林水産物や国内の大規模生産地に対し、価格面や供給量で不利な状況といえます。また、昨今の輸入産物は、現地での生産技術や品質管理も格段に進歩しているだけでなく、国内市場の動向に対して迅速に対応できる輸入ルートも拡充されてきています。

このような市場競争に佐世保市が参加し続けるためには、佐世保市独自の販売先を開拓し、差別化を図る必要があります。

もともと、農林水産物は、地域の気候や地形などの条件で自然や景観、それらを基にして、そこで生活する人々が作りだした「郷土料理」、「祭り」、「行事」など広い意味での地域資源や食文化と深く結びついていますので、地域の様々な状況に応じて、地域をキーワードとした農林水産物の価値を高めることが重要な要素となっています。

このことから、各々の地域が得意とする産物の生産や独自の流通方式などを相互に取り入れ、各々の地域が持つ優れたところをさらに引き上げられるなど、相乗効果が期待できるため、地域間の連携強化を目指すことが必要となります。